



慶光会だより

平成29年3月吉日発行 第91号

目次

行事の様子 P2
研修報告 P3

お知らせ、お礼 P4



「光は希望、そして明るい未来を表現しています。」
「ダイナミックな形」は、慶光会の活動の「躍動感」を表現しています。
「暖かい色」と「伸びやかな曲線」は、「友愛」や「共存、協力」を表現、加えて、既成の概念に囚われない「柔軟な発想」を表現しています。
「つながる形」は、人と人、人と地域等の「絆」を表現し、加えて、そこから始まる「新たな可能性」の扉を開く事を表現しています。

「光は希望、そして明るい未来を表現しています。」
「ダイナミックな形」は、慶光会の活動の「躍動感」を表現しています。
「暖かい色」と「伸びやかな曲線」は、「友愛」や「共存、協力」を表現、加えて、既成の概念に囚われない「柔軟な発想」を表現しています。
「つながる形」は、人と人、人と地域等の「絆」を表現し、加えて、そこから始まる「新たな可能性」の扉を開く事を表現しています。

「光は希望、そして明るい未来を表現しています。」
「ダイナミックな形」は、慶光会の活動の「躍動感」を表現しています。
「暖かい色」と「伸びやかな曲線」は、「友愛」や「共存、協力」を表現、加えて、既成の概念に囚われない「柔軟な発想」を表現しています。
「つながる形」は、人と人、人と地域等の「絆」を表現し、加えて、そこから始まる「新たな可能性」の扉を開く事を表現しています。



当法人は平成28年に創立35周年を迎え、これを機に法人名を「社会福祉法人慶光会」へと変更しました。そして、職員全員が同じ志を持つて次の時代に向かってスタートを切る事を目指し、新規シンボルマーク及びロゴタイプを作成するに到りました。5年目職員を中心に自分たちの想いを込めたロゴマークが完成しました。

法人ロゴマーク完成



わたしたちの旅行記



蒜山地域 利用者旅行

「利用者みんなができるかぎり希望の場所へ行くことができるよう」、蒜山地域にある5つの事業所が協力し合い、複数の旅行コース設定をし、利用者個々が希望するコースを選んでもらい実施します。



今年の旅行は2泊3日の白浜海岸とアドベンチャーワールド、1泊2日の大阪やレオマワールド、皆生温泉、そして日帰りコースに分かれていきました。それぞれのコースでは、その地の観光地や遊園地・動物園等を巡り、日常にはない体験をすることができました。



利用者の中には、この旅行のために自分の小遣いをコツコツ貯めている方もいます。この旅行を実施することで、目標が出来たり楽しみが出来たりする人もいるので、今後工夫を凝らしながら実施していきたいと思えます。



南部地域 利用者旅行

デイセンターまにわは、利用者の想いを聞く中で「美味しいものが食べたい」「お芝居が観たい」との声を聞き、10月に倉敷の「やま幸」へ観劇旅行に行きました。



RSKバラ園でバラを鑑賞したり記念撮影をした後、「やま幸」へ。お刺身・天ぷら・お鍋などの会席料理を味わいながらカラオケをした後、楽しみにしていた演劇の始まりです。一部のお芝居では、ストーリーに合わせて舞台設定が変化することもあり、みなさん楽しんでおられました。二部の舞踊ショーでは、綺麗な着物に着替えた役者さんのステージに目が釘付けになっていました。お土産も購入でき、ゆったりとした楽しい旅行になりました。



南部地域 利用者旅行

「自分たちの行きたいところへ自分たちで計画を立てて旅行がしたい」という想いのある利用者2名が、今年初めて2人だけの一泊旅行へ行きました。バス、電車、タクシーを乗り継いで香川県へ行き、金毘羅さんやレオマワールドを巡りました。初めての2人旅、バス停の乗り場を間違えるハプニングはありましたが、駅員さんや地元の人に場所を聞くなどその都度問題を解決しながら無事に終えることができました。旅先では、「無駄遣いしないように」と2人で相談しながら買い物をしたり、交代で荷物を持ちたりなどお互い助け合いながらの旅行ができたようです。「旅館のお風呂はイマイチだったけど、料理は美味しかった」「次は、東京デイスニーランドへ行ってみてみたい」など思い出を話してくれる様子を見てみると、今回の経験が自信になったようです。色々挑戦することはみなさんの可能性を広げることになると、改めて感じました。



研修報告

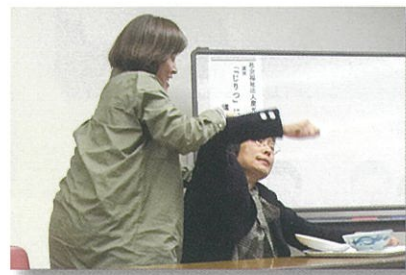
人権研修

平成28年9月17日に、慶光会職員全員を対象に、人権研修を行いました。今年度は「権利擁護と意思決定支援」について中村絹江氏（NPO法人岡山意思決定支援センター）による副理事長を講師にお招きして、「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」ということを、事例を交えながらお話ししていただきました。講演を聴いて参加した職員からは、日々の利用者支援の中で「自分の価値観を目の前の利用者押し付けていたかもしれない」「利用者一人ひとりから意思を引き出す力を身につけていこう」といった感想が多く聞かれました。講演の中で言われた「私たちは人形浄瑠璃のように人形を操る黒子ではなく、歌舞伎のように役者のサポートをする黒子であること」を、職員それぞれが心に刻んだ研修となりました。



「支援」について、「じりじり」について考える

「ロールプレイのーコマ」



実践報告会を実施しました。

井上先生からは、「『じりじり』について考える」というテーマでご講演いただきました。話の中で特に心に残ったのは「実践は「意図して」行うもの。共感し合い、援助者が働きかけ、（利用者との）共同により成立する」「利用者だけに「品行方正」を求めてはいませんか？」という問いかけでした。自分たちが選んだ「支援」という仕事の目的は何なのか？を改めて自分自身に問い返すきっかけになりました。

実践報告は法人内で初めての試みでしたので、発表者は1年余りをかけて資料作成や発表の仕方に悩み、何度も修正を加えながら当日を迎えました。緊張の中の発表でしたが、実施後の発表者から

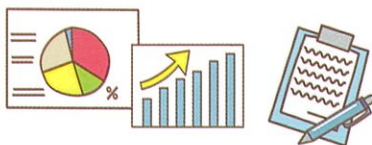
平成28年11月12日当法人の生活支援部会主催で、井上尚美氏による講演と、自分たちが一定期間取り組んできた実践内容をまとめた

は「日々の支援を振り返る、考える機会になった。利用者の変化を感じられた」との感想が、参加者からは「自分たちがしてきたことを改めて考え直す機会になった」といった感想が聞かれ、自分たちの取り組んでいることを文章としてまとめ、報告することの大切さに改めて気づきました。

井上先生に教えていただいた「目的を見失わず、想像力を働かせて、誠実に支援する」職員集団であるよう、日々努力していきたいと思えます。そして、今後この実践報告会を開催していきたいと思えます。



- 内容
- ・かんぱんを
 - ・いつものコ
 - ・食べ方のコ
 - ・野菜から
 - ・参加者が「
 - ・油の多い食
 - ・マーガリ





ありがとうございます



蕨山ライオンズクラブ様 もちつき



昨年12月に蕨山ライオンズクラブの方に来所して頂き、餅つきを行いました。毎年恒例の行事になっており、利用者みなさんは始まる前からわくわくしていました。いざ餅つきが始まると、息の合った掛け合いとできあがっていく餅を見て、みなさんの顔から笑顔が自然にあふれていました。この行事はただ単に餅つきを見て食べるだけではなく、ライオンズクラブの方と一緒にこねたり丸めたりするなどの体験ができるのが魅力です。今年度も地域の方の力を借り、季節を感じ楽しく新年を迎える準備をすることができました。ありがとうございました。



赤い羽根共同募金 助成事業完成のお知らせ

このたび平成27年度助成金の交付を受けて、左記の事業を完成しました。
ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、赤い羽根共同募金会を始めご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

記

- 事業名・・・バン(普通)の整備
- 整備車輛・・・トヨタ ハイエース
- 事業費総額・・・337万円
- 助成金・・・100万円
- 施設名・・・デイセンターまにわ
- 事業完了・・・平成29年1月



以上

八景様のおいしい食事

今年も湯原温泉八景様のご協力により、おいしい食事をご馳走になりました。

利用者みなさんはこの日を楽しみにしており、普段は残すことの多い食材もこの日はかりはきれいに食べられます。やはりプロの味は違いますね。



日頃はなかなか食べることのできない味わい深い食事をいただき、利用者みなさんからは笑顔がこぼれていました。来て頂いた八景のみなさま、本当にありがとうございました。



ご協力いただき ありがとうございます

青木怜子様

勝山高校蕨山校地様

八景様

蕨山ライオンズクラブ様

